

9月 定例山行 津和野街道散策 羅漢温泉 津田
 9月 13日 (火) ☆天候 快晴
 参加者 16名 C L 西本 S L 三村
 宮木 (一) 宮木 (澄) 熊谷 (修) 熊谷 (陽) 若木 (一) 若木 (小)
 小林 村田 若林 得本 安永 川村 島田 滝
 コースタイム 重なり岩 (9:00) ⇒ 街道入りローストレッチャー (9:30) ⇒ 石畳 (10:25) ⇒
 殿様駕籠立て岩—松が峠—悪谷 (11:30) [昼食 12:30]—食後「木の葉カルタ取り」
 (13:00) ⇒ 中道[散策終点](13:45) ⇒ 羅漢温泉(15:10) ⇒ 県庁北へ

報 告

津和野街道入り口から南に約1kmの県道沿いにある、「ナニコレ珍発見」に出た「重なり岩」を見た後、いよいよ津和野藩参勤交代の古道に入る。間もなく、いわれは定かでないが、大きな岩を祀った観音堂。観音さんと言ったら女性とばかりおもっていたら、「仏には女はない」と教えられ、納得。

左手からの爽やかなせせらぎの音を聞きながら、しばらく歩くと歴史を感じさせる苦むした石畳が現れ400年の遙か昔を偲ばせる。

街道は、少しずつ急斜面になり、殿様の駕籠を置いた「かご立て岩」に着く。標高は700mあり入り口から約300m登ったことになり、松が峠から悪谷へ降る。

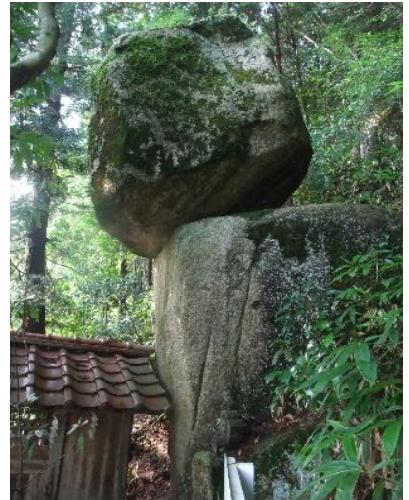
悪谷の広場での昼食後、若木夫妻から“おあそび”「木の葉合わせカルタとり」ゲームをしました。出題者の出した「木の葉」と同じ葉っぱを雑多に並んだ木の葉のなかから同じものを探し出すのです。このゲームこれから何処かで?。写真の葉っぱは、ダンコウバイそれともシはキツネさん夫婦に

悪谷から緩い斜面を過ぎた峠に「お地蔵中道の終点にゴール。

羅漢温泉に浸かる。残暑の一日、風雪に耐えたネンキ者の面々、「たまにはイイモノ」でしたか?



ロモジ? 答え
お聞き下さい。
を登り「越しの原」
さん」が“にっこり”



(記 西本 輝彦)

